

結いPass English 広がる未来



江川北小学校の様子

問 市指導課 TEL 32-9971

現在は小学校3年生から外国語活動、小学校5年生から外国語が必修となっており、英語教育は新たな段階を迎えています。市では、子どもたちが楽しみながら英語に親しみ、意欲的に学べるよう「結い Pass」と呼ばれる英語パスポートを導入しました。小学校から英語専科教員とALT(外国語指導助手)のチーム・ティーチングによる授業で、実践的なコミュニケーション活動を重ねながら、学ぶ楽しさと自信を育てています。

子どもたちは普段どのような形で英語を学んでいるのでしょうか。英語教育の現場を紹介します。

★「結いPass English Day」を開催

複数のALTと一日をとって英語で交流を図ることで、授業の枠を超えた「生活の中での英語体験」を実現しています。



My name is ○○. I like ○○.
Rock, Scissors, Paper, 1.2.3!

自己紹介とじゃんけんゲーム



外国の給食クイズです。「3つの写真の中でアメリカの給食はどれ?」給食から異文化への関心が高まります。



説明が英語のため、ALTの言葉一つ一つを逃すまいと真剣な表情で聞き取り、質問にも積極的に答えます。

小学校

「結い Pass English Day」に参加して

- ★ 1年生から6年生まで一緒に英語ができて楽しかった。(3年生)
- ★ 英語で自分の好きなことを伝えることができた。次は英語で自分の夢を伝えたい。(5年生)
- ★ 2か国のALTの先生と交流ができ、英語を使ったゲームなどもとても楽しかった。(6年生)

★夏休みに「結いPass English EXPO 2025」を開催

活動中はほとんど英語ですが、ALTがお手本を示すことで、子どもたちは活動内容を理解します。映像や音楽に合わせてインプット・アウトプットを繰り返し、体験を通して英語を使う楽しさを実感します。



★英語教育を支える存在

市では、ALTの配置や検定料の補助など多方面から英語学習を支援しています。

自分の思いや考えを伝える経験に

日頃の授業では、ALTの先生の明るい声かけに、児童が楽しみながら意欲的に活動しています。

ネイティブスピーカーの自然な英語表現に親しみ、自分の思いや考えを英語で伝える経験は、英語学習への自信となり中学校以降の学習の財産になると考えます。(市内小学校 教諭)

苦手意識を生まないために

中学校では「読むこと・書くこと」の学習も本格化しますが、小学校からの学びの接続・連携という点において、特に中学校1年生では会話によるコミュニケーションの時間を大切にしています。

「話す」は「書く」につながります。学びの土台となるインプットを十分に行い、英語に対する苦手意識を持つことがないように授業展開しています。(市内中学校 教諭)



支援

外国語指導助手(ALT)



現在、7人のALTが小中学校の英語教育に携わっています。

月に一度、ALTミーティングを実施し、1回1回の授業や活動が、児童生徒にとってより良いものとなるよう、意見交換や教材研究を行っています。

英語検定料・TOEIC受験料補助制度

市では、児童生徒の英語力と学習意欲の向上を目指し、日本英語検定協会が実施する英語検定の検定料の一部を補助しています。

また、英検3級以上に合格している場合は、TOEICの受験料の一部を補助します。

補助対象者・金額・申請方法は市ホームページをご確認ください。



★チーム・ティーチングによる実践的な英語環境

チーム・ティーチング(複数の教員がチームを組んで協力し、役割分担をしながら授業を行うこと)により、実践的な英語力を鍛えます。



結城東中学校 授業の様子

中学校の英語授業においても、授業中の会話や指導はほとんど英語です。生徒は、実践的な英語環境に身を置き、身近な人物や事柄など、自身に関する話題をとって学びを深めます。

また、中学校では「即興でのコミュニケーション」にも重点を置いています。授業では、生徒同士の活発なやり取りを通して言葉の理解を促すとともに、自らの考えを発表する力を育成しています。

複数の先生による授業は分かりやすいです。実際に、英語を使って考えを伝え合うことや、ゲームのように単語と発音を学んでいくことも楽しいです。(1年生)



中学校

Who's your favorite person?



My favorite person is ○○.
Because ○○.



自分の意見や考えを伝え合うことで、言語の活用方法を定着させます。